

## まえがき

本書は、教職課程の大学生、初任者や10年目研修をはじめとする多くの先生方、学級経営に困ったり悩んだりしている先生方を勇気づけ、元気づけることを目的として作成されています。タイトルには「子どもをつなぐ学級経営」と副題をつけさせていただきました。これまでの教育実践をもとにして、教師力といえるキーワードを取り出し、学級崩壊や授業崩壊を未然に防ぐアプローチを、学校心理学の立場から追究しています。本書をご覧いただいたらお分かりのように、学級崩壊はどの先生にだって起こり得るものです。ですから、私たちは、この本を手にとってくださったり、熱心に学級経営に取り組んだりされていらっしゃる先生方とともに「教師力」や「学級力」を高め、未然に崩壊を防ぐアプローチを学級で実践したいと考えました。この本をご覧頂き、学級経営の達人への道すじ、教師力を高める学級経営について考えていただけたら幸いです。

現在、小一プロブレム、学級の荒れ、いじめ自殺、不登校、学級崩壊、モンスターペアレント、ブラック部活、長時間労働、などさまざまな問題が、教育界においては指摘されています。そういった学級経営にも関わる問題に、真剣に悩み苦しんでいる教師は少ないのではないのでしょうか。しかしながら、これら新聞やTV、インターネットにもよく躍るようになった言葉には、何かしっくりと来ない先生方も多いのではないかと思います。それは、これらの用語というのは、学級にいる子どもたちの姿や存在を置き去りにした言葉だからではないでしょうか。

学級を担任する先生方は、毎日子どもたちの顔を見て、子どもの学習に応じて教育を行っています。学級経営で出てくる問題は、目の前にいる子どもたちの姿に直結した問題でもあるのです。先生方からすると、単なる一般的な社会問題ではなく、毎日の切実な、また身を削るような現実的な問題なのです。しかしながら学級経営に悩んでいる先生が多い一方で、中には学級経営が上手とか、あまり問題の起こらない学級というのがあるのも事実です。どの先生もそうでしょうが、これまで私たちも、目の前の子どもの指導に悩み、保護者の対応に苦慮し、時に学級経営の問題に直面してきました。だからこそ、ベテランの教師の技術や教育方法を真似て、その技術やスキルを磨き、何とか乗り越えてくることができました。また、学級経営につまずいた先生にしか分からないことだってあります。そんな学級経営に悩む先生方を勇気づけ、励まし、学級の問題についての解決策や対応策をわかりやすく示すことで、元気を出してもらおうというのが本書の出版の狙いです。

さて、本書では「教師力」という言葉を使っています。ここで少し、教師力について触れておきたいと思います。「教師に求められる力」として安彦忠彦氏（早稲田大）は教師のコミュニケーション能力をあげ、人間らしい仕方で子どもとコミュニケーションを取る力やその能力を高める努力が必要と述べています。また、田中統治氏（筑波大）は、子どもに大人が希望を見せること、押谷由夫氏（昭和女子大）は、子どもの人格にいかに関与せられるかが教師力であると指摘しています。さらに、山下政俊氏（島根大）は、やはり教師にとっては知識・能力・構えこそが大切であると述べ、現状に対する教師の絶えざる真摯な省察と変革の意志こそが、教師力の向上を可能にするのだと論じています。このように「教師力」という言葉は、いまだきちんとした定義こそないものの、教師にとって必要な能力について、さまざまな切り口から論究されようとしています。本書は、それらに続いて「教師力」や「学校力」とは何かを考える一冊となることを目指しました。

また本書は、学級経営に本気で力を注ぐとともに、何より子どもたちの笑顔が大好き、そしてこてこての大阪人のコンビが共同で執筆しています。まず、特別活動と学級経営の基礎基本とその考え方（第1章）と、学級経営で大切なポイントとその技術や方法（第2章と第3章）について述べました。中盤では、総合的な学習の時間がいかに学級経営に有効であるか、さらに、学級の荒れの治療と予防のコツについて「宮前ワールド」とも言うべき学級経営の達人の技を紹介します。中でも第4章では、実際の学習活動における学級経営について5年生の指導計画（総合的な学習）がたいへん参考になります。教師と子ども、子どもと子どもをつなぐスキルが具体的に紹介されていますので、総合的な学習を展開しながら、学級経営をより充実したものにしていきましょう。また、第5章では音楽会という学校行事を中心に、学級崩壊からの立て直しに関わった教育実践を掘り起こし、その方策にまで言及しています。皆さんの学級経営の参考にして頂き、この本を手にとって頂いた方が、その教師力を高める一助となればと思います。

このように本書は、学級の荒れに悩んでいる先生方には大変興味深く、学級崩壊からの脱却のプロセス、再出発に向けた人間関係づくりの方法といった、まさに現場の先生に直結した実践的な内容構成になっているものと自負しています。まずは、じっくりとお読み頂き、学級経営に一生懸命取り組む先生方の糧としていただき、またご自身の学級を見つめ直す機会としてお役立ていただければ、筆者としてこれほど嬉しいことはありません。本書を、現場の先生方の教師力を高め、また先生方を笑顔に、さらには子どもたちの笑顔に結び付けていただければ幸いです。

2021 年 11 月

編著者 矢野 正・宮前 桂子

特別活動・総合学習論  
—子どもをつなぐ学級経営—

---

目 次

まえがき	i
------	---

## 第1章 特別活動と学級経営 ..... 1

### 第1節 教育をめぐる現状 ..... 2

1. 時代の変化と教育問題の多様化 ..... 2
2. 心の病と闘う教師 ..... 3
3. 社会の中の一教師として —— 教師の常識は、社会の非常識? ..... 4
- 【コラム1】学校を取り巻く新たな動き① ..... 5
- 【コラム2】学校を取り巻く新たな動き② ..... 7

### 第2節 特別活動とは ..... 8

1. 特別活動の充実に向けて ..... 8
2. 特別活動の特質と教育的意義について ..... 9
3. 特別活動における他教科等との関連性 ..... 12
4. 特別活動における3つの視点と、育成を目指す資質・能力 ..... 13
5. 特別活動の現代的意義と「食育」の充実 ..... 14
6. 海外に輸出されるまでに注目される「特別活動 (Tokkatsu)」 ..... 15

### 第3節 特別活動における学級経営のポイント ..... 16

- 【コラム3】学級経営の課題 [現代版] ..... 19

## 第2章 学級経営の基本 ..... 21

### 第1節 学級経営と学級づくりとは何か ..... 21

1. 学級経営とは何か —— なぜ大学で教えてくれないのか ..... 21
2. 学級経営の意義と役割、機能について ..... 23
3. 学級経営における指導の留意点 ..... 25

### 第2節 学級経営の重要な視点 ..... 27

1. 学級を捉える視点 ..... 27
2. 学級経営の実践において大切なこと ..... 31
- 【コラム4】学級では当たり前をつくるのが、学級経営の近道になる ..... 34
3. 特別支援教育の観点を踏まえた学級経営 ..... 35
- 【コラム5】いわゆる「中1ギャップ」は、中1からじゃない!? ..... 39

### 第3節 求められる教師の姿勢 ..... 40

1. 子どもを信じ、自分を信じる「教師」になろう ..... 40

2. 子どもたちと一緒に成長する「学び続ける教師」になろう 42

3. 普段の授業を通して、楽しい学級経営をしましょう 44

4. 子ども理解から始める「学級経営」 46

【コラム 6】教師でいるということは、案外と難しい 48

資料 1 「特別活動」(小学校) 50

資料 2 「特別活動」(中学校) 54

### 第 3 章 学級づくり・学級経営の理論と方法 .....59

#### 第 1 節 教師のマインド(態度) 59

1. 1 年をかけて学級経営を楽しみましょう 59

2. 学級崩壊の波を、上手に乗り越えましょう 61

3. 子どもの「聞く力」を育てましょう 63

4. 肩の力を抜いて、楽しい授業をしましょう 65

#### 第 2 節 教師のテクニック(技術) 67

1. リレーション[基礎編] 67

2. リレーション[応用編] 84

3. リレーション[保護者への発信] 87

4. 学級のルールづくり 100

#### 第 3 節 まとめ——教師が変わるとき、子どもが変わるとき 105

資料 3 学級の観察・判断レベル：学級が崩れていく時 見逃さないで 107

### 第 4 章 総合的な学習における学級経営 ..... 108

#### 第 1 節 総合的な学習の時間とは 109

#### 第 2 節 総合的な学習の実践例(1)「健康博士になろう！」 117

#### 第 3 節 総合的な学習の実践例(2)「お米フェスタを開こう！」 121

#### 第 4 節 子どもの課題設定力を育む教師の支援と方法 126

1. 直接的な支援 127

2. 間接的な支援 128

#### 第 5 節 総合的な学習における学級経営のポイント 138

1. 認め合いの場をつくろう 138

2. アドバイスがし合える環境をつくろう 139

3. 子どもに問題解決力をつけよう 139

4. 対話の時間できっかけを創ろう	139
5. 総合的な学習の時間で、学級力を高めよう	141
資料4 学習指導の記録	143
資料5 課題設定ループリック	144
資料6 計画カード	144
資料7 学習指導案 A	145
資料8 学習指導案 B	146
<b>第5章 学級崩壊からの復帰に関する理論と方法</b>	<b>147</b>
第1節 学級崩壊とは	147
第2節 学級崩壊が起こったら	149
1. 援助チームを作ろう	151
2. 教科担任制、TT 授業を導入しよう	153
3. 教師と子どもの教育相談を実施しよう	155
4. 保護者会を開こう	156
第3節 対応のポイント	157
1. 担任の役割	157
2. その他の教職員の役割	164
第4節 崩壊からの脱出	167
1. 第1期——援助チームの編成	167
2. 第2期——共通体験の工夫	167
3. 第3期——学級ルールの回復	168
第5節 立て直し方のポイント	168
第6節 学級崩壊を未然に防ごう	169
資料9 学級崩壊からの立て直しのためのチェックリスト	171
<b>あとがき</b>	<b>172</b>